

第1学年 道徳学習指導案

日 時 平成29年1月30日(月)5限

- 1 主題名 よりよく生きる喜び 内容項目3-(3)
- 2 資料名 いつものバイオリン(出典「中学生の道徳1 自分を見つめる」あかつき)
- 3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

ありのままの人間は、誰でも必ず弱さをもっていて、様々な誘惑に負け、易きに流されることも多い。その一方で、誰もがもっている良心によってそれらを乗り越え、判断し行動することもできる。ここで言う人として『よりよく生きる喜び』とは、自分自身の弱さを認識し、良心に基づいた判断や行動がとれたときに生まれる自分自身への満足感を指すものだと考える。その際の満足感とは、単なる自己満足ではなく、人から褒められたり、認められたりするときの喜びであり、人間としての誇りや深い人間愛、同じ人間として共に生きていく深い喜びだと言える。そして、人として『よりよく生きる喜び』を重ねる中で、人間は気高い存在へと変わっていきける。

(2) 生徒の実態について

一般的に中学生の時期は、周囲の目が気になり自分に自信を持ちづらいもので、その分、周囲から認められたいという欲求も強くなる。本学級の生徒も同様で、Q-U検査での承認得点が担任の受け止めよりも低い生徒は、このような傾向がより強いと考えられる。また、『10年後の私』を想像させた際には、憧れの職業を挙げられない生徒が大半で、将来の夢やなりたい自分像のイメージは弱い。誘惑に負け、易きに流された判断や行動は日常的で、自制心や責任感など良心との狭間で揺れ動いている生徒もいれば、果たして葛藤しているのだろうかと思える生徒もいる。『よりよく生きる』という道徳的価値を通して、「普通に働いて、楽しいことをして暮らしたい」という生徒の意識が少しずつ変容していくことを期待している。これまでの学習活動の様子では、意見交換や発表などにも比較的意欲をもって取り組んでいたため、今回も話し合いで考えを深める場面を設定していきたい。

(3) 資料について

本資料は、バイオリンづくりの職人を主人公として描かれたものである。彼の仕事に取り組む姿勢や職人としての探究心は、それだけでも職業観や生き方を考える材料となりうる。さらに、物語では、そんな彼の元に世界的名声が手に入るかもしれない大チャンスが舞い込む。夢の実現、世界的名声、巨額の報酬に加え、契約した仕事に対する責任感や義務感も作用し、いつものバイオリンを生み出してしまう。その過程は、内なる葛藤と人間の弱さを考える材料にふさわしい。授業では、彼の内面的葛藤をモラルジレンマと捉え、『公正』『正義』と『理想の実現』『役割と責任の自覚』を対立軸として意見交換することで、『よりよく生きる喜び』の道徳的価値へとつなげていきたい。

4 ねらい

・人間は弱さも良心も併せ持った存在であることを再認識し、その中でよりよい生き方を目指していこうとする心情を育てる。

5 本時の展開

学習の流れ	形態	主な発問と予想される生徒の反応	指導上の留意点
1 職人のこだわりや誇りをイメージする。	全体	○バイオリンづくりの職人の技やこだわり、作品への愛着を想像してみよう。	・資料に入りやすくするための導入として扱う。予備知識。

2 フランクの行為の背景を整理する。		<ul style="list-style-type: none"> ・フランク(師), ロビン(弟子) ・フランクと同等のロビンの作品 ・バイオリニストとの約束 	<ul style="list-style-type: none"> ・できれば生徒との対話方式で進めていく。
3 モラルジレンマの対立軸に沿い, 自分の立場を明らかにして, 思考する。	個人	<p>○あなたは, フランクのこの行為をどう受け止めますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絶対に許せない。間違っている。 ・仕方ない。やむを得ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに自分の意見を記入させる。 ・黒板の軸上に氏名カードを貼り付け, 自分の立場を明らかにさせる。
4 話し合い活動を通して, それぞれの価値や意味について, 思考を深める。	討論	<p>○フランクの行為を, それぞれの立場で評価し, 議論を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界的に評価される人生のチャンス。 ・自分の作品が世界から注目される。 ・ロビンは, フランクが育てた弟子。 ・約束を何とか果たそうとする責任感。 ・結局はいつわり。 ・ロビンの気持ちはどうなるのか。 ・職人としての誇りはどうなるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・立場を二分し, 対立軸をつくる。 ・一方に「理想の実現」「責任」, 他方に「公正」「正義」の視点を示し, 思考を深める手掛かりを与える。 ・議論を通して「誇り」「誠実」に焦点を当て, 生き方へと導く。
5 よりよく生きる喜びについて考える。	個人	<p>○「よりよく生きる」=「喜び」とは結局どういうことなのでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分に恥ずかしくない生き方 ・誇りある生き方 ・お金や名誉がすべてではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに個人の考えを記入させる。 ・動画を見せ, 授業の終末とする。

6 準備物

読み物資料「いつわりのバイオリン」(前半), ワークシート, スライドショー(導入時使用), 動画(終末時使用)

「いつわりのバイオリン」

よりよく生きるとはどのようなものかを考え、喜びある生き方を目指そうとする心情を育てる。

☆あなたは、フランクのこの行為をどう受け止めますか。

<感じたこと>

☆フランクの行為について、議論を深めましょう。

あなたの役割は… () 派 → キーワード ()

<キーワード>	<考えた内容>
<input type="text"/>	→
<input type="text"/>	→
<input type="text"/>	→
<input type="text"/>	→

★議論後の考え 「 」とは? 「 」とは?

自分へのふりかえり

とても やや あまり まったく

今日の授業の内容は	印象に残った	—— —— ——	印象に残らなかった
話し合いによって、自分の考えを深めることが	できた	—— —— ——	できなかった
新しい発見・気づきが	あった	—— —— ——	なかった
今日のテーマに	意味を感じた	—— —— ——	意味を感じれなかった

